

気鋭の社会学者が日本文化を浮き彫りにする！



しゅうとう よしき
周東 美材

* 学習院大学 法学部 教授

■プロフィール

1980年、群馬県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業、東京大学大学院学際情報学府修了、博士（社会情報学）。専攻は社会学、音楽学。東京大学大学院特任助教、日本体育大学准教授を経て大東文化大学社会学部准教授。

メディア文化、とりわけ日本のポピュラー音楽（ジャニーズ、宝塚、童謡など）を手掛かりにして、日本や東アジアの歴史やジェンダーについて研究している。

著書に『童謡の近代』（岩波現代全書、第46回日本童謡賞・特別賞、第40回日本児童文学学会奨励賞）、『カワイイ文化とテクノロジーの隠れた関係』（共著、東京電機大学出版局、2016年日本感性工学会出版賞）など。

講演テーマ（例）

- 『「未熟さ」の系譜—宝塚からジャニーズまで—』
- 『童謡の100年—メディアの変容と子ども文化』
- 『戦後日本における職業音楽家としての「うたのおねえさん」の誕生』
- 『童謡はいかにして「音楽文化」になったのか——消費社会とアメリカナイゼーション』
- 『ジャニーズと「戦後日本」』
- 『少女歌手の産業化——童謡を事例として』
- 『ドキュメンタリーとしての「スター誕生！」——戦後日本のテレビと子ども文化』

芸能文化とジェンダー、LGBT アーカイブなどいくつかの取り組みをしておりますので、どのような内容・方向性がよろしいか、企画が決まり次第、改めてご相談できれば幸いです。